

Active Xross SUS. Kit

アクティブクロスサス・キット No.KFA1 V5 710
取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ「アクティブクロスサス・キット」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本書には、本製品を車両へ取付ける前の準備作業および取付け時の注意事項を記載しております。作業を行う前に必ず本書をよくお読みいただき、記載内容に従って正しく作業を行ってください。また、取付け作業終了後は、本書を必ずお客様へお渡しください。

適合車種

CX-5 (KF2P) 4WD 360° ビューモニター付車

※車台番号 KF2P-300001～の車両に装着する場合、純正マウンテングラバー (TK52-28-380C) ×2が別途必要。

取付上の注意事項: ⚠ 警告 (人的には死亡または重傷、物的には重大な損害の発生する可能性のある場合。)

1. 適合車種以外の車両への取付けは絶対に行わないでください。
2. 本製品の取付けは必ず1台分セットで行ってください。片側のみ取付けた場合、車両バランスが崩れ、重大な事故につながるおそれがあります。
3. 本製品の取付け作業は、設備の整った専門工場にて資格を有する整備士が実施してください。
4. 走行直後はエンジンやブレーキ周辺部品が高温となっています。やけど防止のため、各部が十分に冷えていることを確認してから作業を行ってください。
5. 作業時に車両をジャッキアップする場合は、リフトまたはリジットラックを使用し、自動車メーカー指定の位置で確実に車両を固定してください。
6. コイルスプリングの着脱には必ずスプリングコンプレッサーを使用してください。使用時は偏った圧縮を避け、円周上を均等に圧縮してください。
7. ショックアブソーバーのピストンロッドナットは、スプリングコンプレッサーでコイルスプリングを十分に圧縮した後に取外してください。圧縮前に取外すとコイルスプリングが飛び出し、重大な事故や部品破損の原因となるおそれがあります。
8. 構成部品リスト以外の部品を使用したことによる不具合、事故、破損について、当社は一切の責任を負いません。指示のない箇所には、必ず当該車両の純正部品を使用してください。
9. 製品の改造および加工は絶対に行わないでください。これにより発生した不具合、事故、破損について、当社は一切の責任を負いません。

取付上の注意事項: ⚠ 注意 (人的には死亡または重傷、物的には重大な損害の発生する可能性のある場合。)

1. 本製品の取付け作業は、本書およびマツダ株式会社発行の整備書に従い実施してください。
2. ハーネスおよびコネクタの取外し・保管の際は、破損や断線が発生しないよう十分注意してください。
3. 一時的に取外した部品は、取付け位置を誤らないようマーキングなどを行い、識別できる状態で保管してください。
4. ボルトおよびナットの締付けは、本書に指示がない箇所については整備書に記載の指定トルクに従い、確実に締付けを行ってください。

取付け時の留意点 ※重要事項につき必ずご確認ください。

1. バンプストッパーは、純正部品を加工せずそのまま再使用してください。切断や他部品への交換を行うと、運動性能や乗り心地に悪影響を及ぼすおそれがあります。
2. 再使用する純正部品が長期間使用されている場合や、劣化が認められる場合は新品部品へ交換してください。
3. 車高変化によりサスペンションアームの取付け角度が純正時から変化します。すべてのサスペンションジョイント部の取付けボルト・ナットを、車両リフトアップ状態で一度緩め、4輪を水平な地面に接地させた状態(1G状態)で再締付けしてください。
※サスペンションキット取付け時に取外した箇所以外も含め、すべてのサスペンションジョイント部で実施してください。
この作業を行わないと、車高が設計値にならない、または乗り心地が悪化する場合があります。
4. ショックアブソーバー本体、ブレーキホース、ABSセンサーハーネスなどがタイヤや周辺部品に干渉しないことを、ステアリングの据え切りおよびサスペンションの伸縮を行って十分に確認してください。また、走行前にはブレーキ作動に異常がないことを必ず確認してください。
5. 製品取付け後は、スプリングに遊びがないこと、および最低地上高や灯火類の高さが保安基準に適合していることを確認してください。
6. 製品取付け後は、ホイールアライメント調整およびヘッドライトのエーミング調整を必ず実施してください。
7. 360° ビューモニター付車に装着した場合、カメラのエーミング調整が必要となる場合があります。

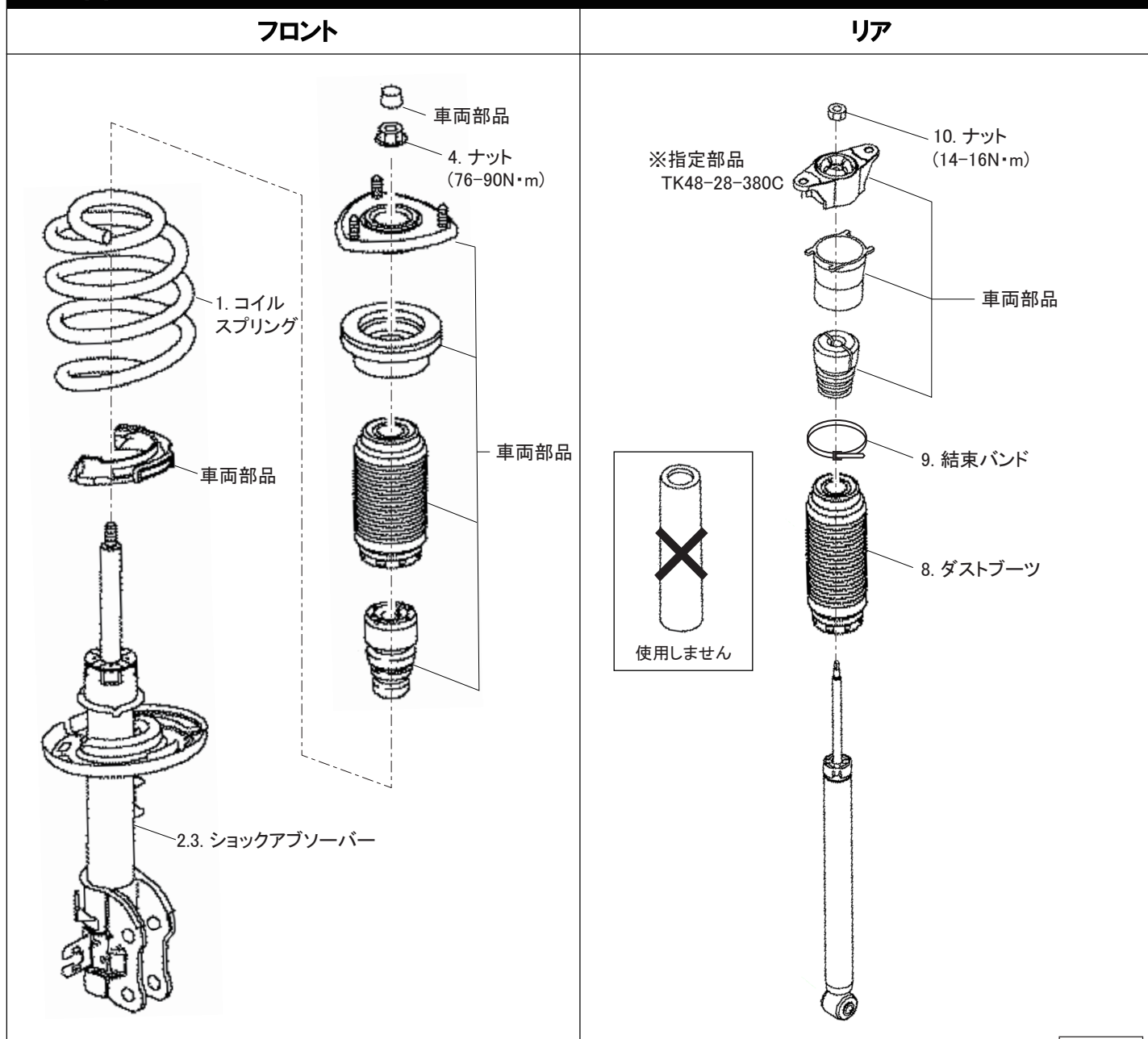
お客様へご使用上の注意事項

1. 長期間良好なコンディションを維持するため、取付け後は慣らし運転(急激な操作を避けた一般走行)を約100km程度行ってください。
2. 車高が安定し適正な状態となるまで、ある程度の走行距離を要する場合があります。
3. 車高は、車両の装備重量差や個体差により、弊社公表値と異なる場合があります。
4. 本製品取付け後は車高が変化します。道路状況や駐車場の高さ制限などには十分注意してください。
5. 本製品取付け後は走行特性が変化します。車両の挙動に十分注意し、慣れるまでは急激な操作を避けて走行してください。
6. 本製品は走行性能向上を目的としているため、純正品と比較して乗り心地が変化する場合があります。また、ショックアブソーバーの作動音(シュツシュツ音、キューキュー音、コトコト音など)が発生する場合がありますが、機能上問題はありません。

構成部品

フロント			
No.	部品名	仕様	数量
1	コイルスプリング	車高+25mm ばね定数 37.6N/mm	2
2	ショックアブソーバー RH	複筒ガス 減衰力固定式	1
3	ショックアブソーバー LH	複筒ガス 減衰力固定式	1
4	ナット	M14×1.25	2
5	スタビライザーリンクASSY	全長調整式(指定寸法 273mm)	2
リア			
No.	部品名	仕様	数量
6	コイルスプリング	車高+25mm ばね定数 47.5N/mm	2
7	ショックアブソーバー Rr	複筒ガス 減衰力14段調整式	2
8	ダストブーツ	L=253mm	2
9	結束バンド	L=283mm	2
10	ナット	M8×1.25	2
11	スタビライザーリンクASSY	全長調整式(指定寸法 160mm)	2

組立図



装着作業

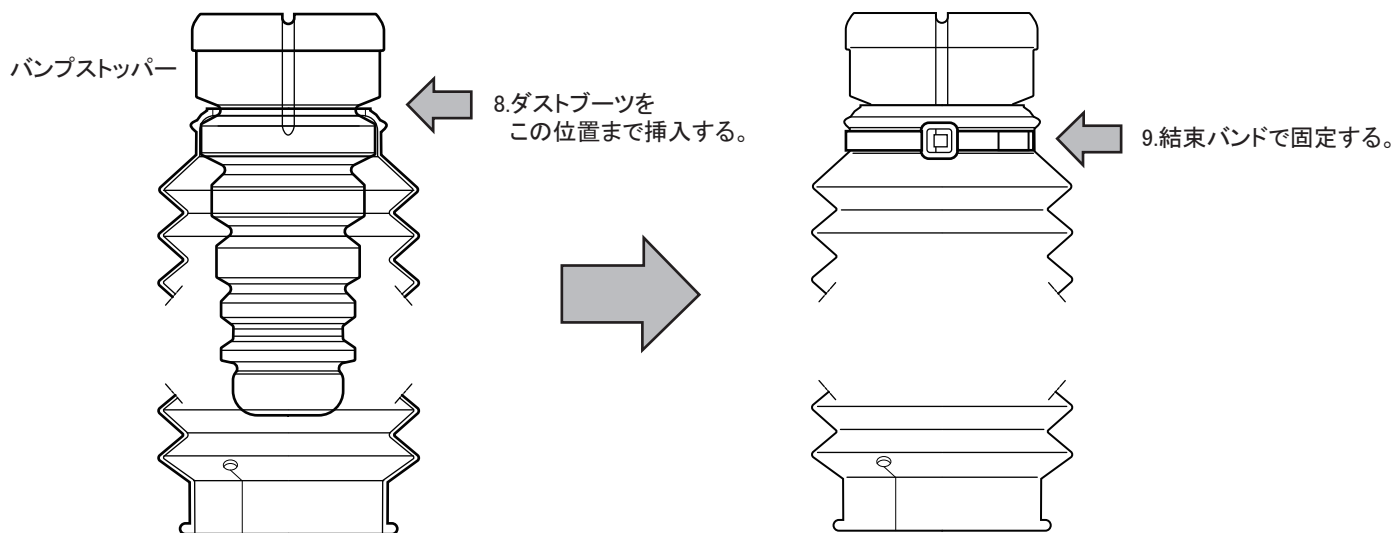
【フロント】

1. 車両からストラットASSY、スタビライザーコントロールリンクを取外します。
2. 2ページ目の組立図を参考に、ショックアブソーバーとコイルスプリングを組付けます。
組付け要領は純正ショックアブソーバーと同様です。組付け手順、留意点は整備書を参考に作業を行ってください。

【リア】

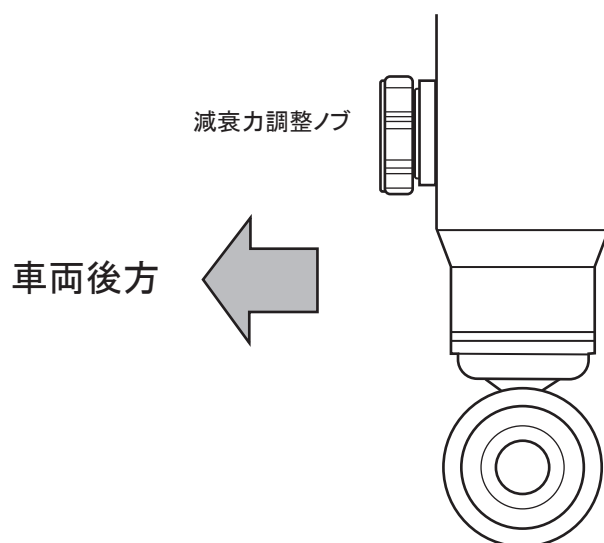
⚠ 注意 サスペンションストローク量が増えるため、アッパーマウントは必ず指定部品をご使用ください。

1. 車両からコイルスプリング、ショックアブソーバー、スタビライザーコントロールリンクを取外します。
2. 2ページ目の組立図を参考に、ショックアブソーバーを組付けます。
ダストブーツはキット付属のものを使用します。下図にしたがって取付けを行ってください。



3. ショックアブソーバーとコイルスプリングを車両に取付けます。
組付け要領は純正ショック、スプリングと同様です。組付け手順、留意点は整備書を参考に作業を行ってください。

⚠ 注意 リアショックアブソーバーは減衰力調整ダイヤルを車両後方側に向けて取付けします。



装着作業

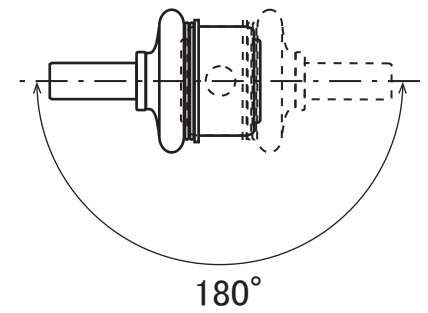
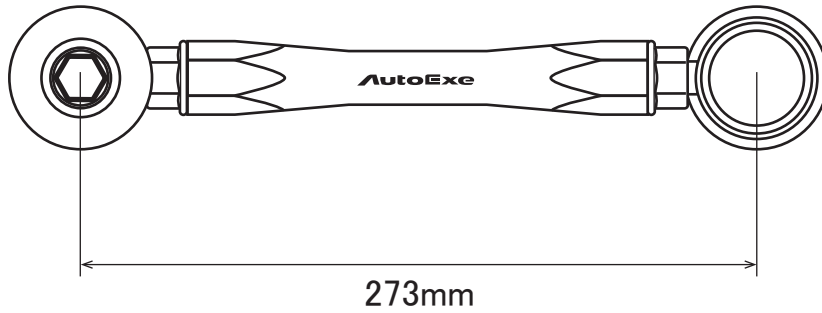
スタビライザーリンクを指定寸法に組付け、車両に取付けます。
組付け要領は下記を参照し、車両への取付けは整備書を参考に作業を行ってください。

【フロント】

ボールジョイント中心間寸法 (※左右共通)

※ロックナット締付けトルク 44.1N・m

ボールジョイント位相 (※左右共通)



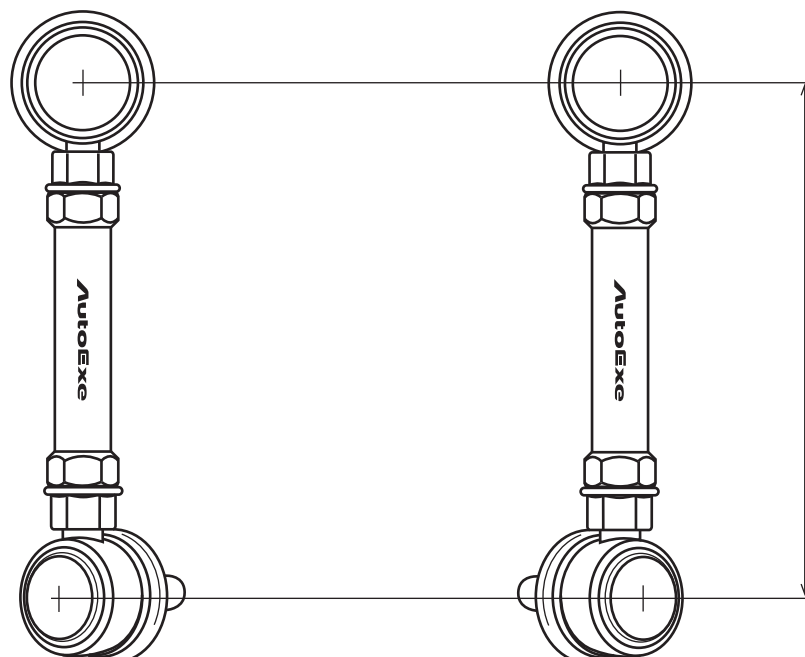
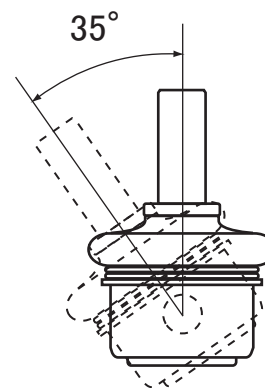
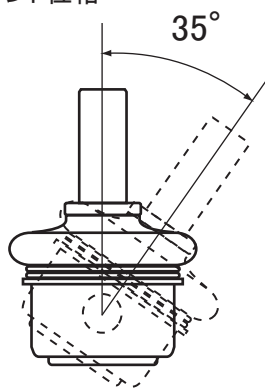
【リア】

※ロックナット締付けトルク 44.1N・m

助手席側

運転席側

ボールジョイント位相



ボールジョイント
中心間寸法
160mm

減衰力調整機構について

本製品は、乗車人数や荷物積載量の変化に対応し、車両の走行安定性と乗り心地を適切に保つため、リアショックアブソーバーに14段階の減衰力調整機構を装備しています。

精密に設計された調整機構により、1人乗車時の軽快な走行から、複数乗車や荷物を多く積載した状態まで、使用状況に応じて最適な減衰特性を設定することが可能です。

ドライバー自身が走行フィーリングに合わせて調整を行うことで、本製品が持つ性能をより引き出すことができます。用途や好みに応じて減衰力を調整し、最適なセッティングで走行をお楽しみください。

【減衰力調整方法】

リアショックアブソーバーに装備する調整ダイヤルを回転させることにより、調整を行います。

⚠ 注意 減衰力段数は必ず左右で同じ位置となるよう調整してください。

段数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
減衰力	弱							推奨 段数	強						
路面状態	良								悪						
乗車人数	少								多						
積載量	少								多						

段数合わせ位置

